

# 平成22年 第1回市民意見交換会の意見概要

## ①議会に関すること

区分	意見概要
議会改革全般	議会改革を進めることを評価する。
	今日の資料の内容では議会改革がわかりにくい。
	議会はこれまで条例を提案したことがあるのか。
	議会は監視機能を果たせばよいのではないか。
	議会に意見を訴えるより執行権を持つ市長に意見を投げかけた方が、より実効性があるのではないか。
	議会全体の合議で政策提言や立案及び議会改革を行なうとされるが、政治信条の違う議員の集まりの中で、実効性に疑問がある。
	議会改革に民意をどのように組み入れるかが課題であり、専門的知見を活用するべきである。
	議会を企業経営に置き換えて考えた時、二元代表制を導入したら企業倒産に陥る。企業経営の視点で見たら行政と議会の関係に疑問がある。
	5月臨時会での議長選挙は、がっかりした。議会改革が反映されていないのではないか。
	政策形成サイクルの頻度が示されていない。
議会の役割	一般質問の後、議員はどのような対応をしているのか不透明である。
	議員と直接、接する機会が少ない。
	議会もまちづくりの理念やビジョンを示してほしい。数値目標も持ってほしい。
	各種産業や施策の隅々にまで目を配れる議会であるべき。
	行政側が行なう説明会には議員も参加するべきでないか。
意見交換会	地域審議会と市民意見交換会は、一緒にやったらどうか。
	各町内会毎に意見交換会を開催してほしい。
	市民意見交換会では、市民憲章の朗読はしないのか。
	今後の市民意見交換会は、今回と同じメンバーで開いてほしい。
	高山市が行なっている各種施策は、充実しているにも関わらず市民に知られていないのが現状であり、PRの方法に問題はないか。今日の説明は、心が動かないものだった。心を動かさないと何にもならない。議会も市民の立場にたって市民に感動を与えて欲しい。
	定数削減は、支所地域の議員がいなくなる場合もあるため、議会の中身を知るためにも意見交換会は続けて欲しい。今後、どの程度の頻度で実施されるのか。
	市民意見交換会の開催周知を徹底し、参加者の増加に繋げるべきである。
	定例会毎に意見交換会は開催されるのか。
	合併直後に意見交換会を開催してほしかった。
	政策形成サイクルの数値目標設定や評価システムを導入するべき。

	<p>これまでは、町内会を通じて議会との関わりを持つしかなかった。どうしたら今後、議会と市民が深い関わりを持てるか、考えてほしい。</p> <p>市民意見交換会は、頻繁に開催して欲しい。</p>
選挙公報	<p>定数24では面識のない候補者に投票しなければならないため、選挙のあり方を考えてほしい。</p> <p>市議会議員選挙時には、公開討論会や個人演説会等、市民が判断できる場を設けてもらいたい。</p>
会派	<p>一人会派を含め会派のあり方を検討するべきではないか。</p> <p>会派の枠を超えて議会改革を行なってもらいたい。</p>
情報公開	<p>議会の状況が伝わらないため、情報公開の精度を高めるべきでないか。</p> <p>市政の情報も伝えて欲しい。</p> <p>特別委員会の活動状況が伝わらない。</p>
定数・選挙区	<p>選挙区は全市一区、議員定数24となったプロセスを知りたい。</p> <p>選挙区、定数の決定までに民間人の意見は反映されているのか。</p> <p>今後は、定数を更に減らしていてもよい。</p> <p>定数24となった根拠は何か。</p> <p>定数削減で、地元の意見が届かないのでは。</p> <p>定数削減で議会運営及び議会機能が果たせるのか。</p> <p>全市一区、定数24に賛成である。</p> <p>旧高山市の定数条例24に合わせるのは疑問である。</p> <p>市域が広い自治法で定める上限の30名の議員が必要ではないか。</p> <p>合併後10年間は特例期間であるため定数削減を控えるべきでないか。</p> <p>定数削減より市民のことを真剣に考える議員を選べるようにすることが大切に思う。</p> <p>合併時に定数削減を提案したが、今まで放って置かれたのは残念である。</p> <p>議員削減は、市民意見の反映から考えると良いことではないため、議員報酬を減額し定数を最大限確保する必要があるのではないか。</p> <p>議員削減は、様々な意見を持つ市民の意見が反映されなくなる。民意を代表する議員を削減することは、住民主権に背くものではないか。</p> <p>議会には派閥があっても一体としてできなかったのではないか。</p> <p>議員定数は段階的に削減するべきではないか。</p> <p>議員の出せない地域も出てくると思うが、そういう地域の声を聴くことも大事だ。</p> <p>議員を減らすことについて、住民も心配しているが、議員自身も悩んでいるのではないか。24人にしたことには敬意を表す。報酬を減らして、定数を多くしてほしい。</p> <p>議員報酬を見直し日当制は考えられないか。</p>

	定数削減は、地域の特性に配慮していないのではないか。
	議員は高山市民全体の奉仕者であるから、広い見識にたつて、地元地域だけでなく市全体を見ることが必要でないか。
	町内会長連合会と協働して広い市域をカバーすることが必要で、それが機能すれば定数24も多いのかもしれない。
	議員削減で支所地域の意見が届かなくなる恐れから、議会でチームを組み、各地域の担当を決め活動するべきではないか。
	議員定数は人口規模や議員報酬と密接に連動しており、定数削減でも議員の行動力で補うべきである。半分はボランティアで活動し、高い次元で高山市を考える議員であってほしい。
	議員定数削減は、合併前の議員も賛成したのか。
	定数24ということは、議会はプロ化の方向で進むこととなるが、その覚悟はあるのか。
	平成21年12月に定数削減・選挙区について市民意見を聴くべきではなかったか。
	全市一区には反対である。
	旧高山市内に議員が集中し、支所地域から議員が出せなくなるのではないかと。過疎化に拍車がかからないようにお願いしたい。
	定数・選挙区は再度、見直すことは考えないのか。
	市民意見を反映するには中選挙区も考えられたと思うが、何故、全市一区にするのか。
	様々な意見を持つ議員が出られるような全市一区は賛成である。
	小選挙区制のほうが地域のことを知っているため、地域が守られるのではないかと。
	旧町村の意見を聴きながら全市一区としたのか。
	議員の出せない地域の不公平感がないようにしてほしい。
	支所地域から議員が出せなくなることは、災害時などの緊急時の対応に不安を抱く。
	総論を言っても、現実的にできるのか。市民の意見を聴いて反映することはできるのか。これだけ広大な地域の意見を集約して発信するのは並大抵のことではない。議員は地元のことだけで精いっぱいなのが現実ではないか。
意見 反映	市民意見交換会で出された意見は、定数・選挙区の最終決定までにどのように反映されるのか。
	地域住民の意見を聴ける地域委員会を設置してほしい。
	市民意見はどのように政策提言及び政策立案に反映されるのか。
	陳情・要望を提出した後、キャッチボールができる体制がほしい。
	支所地域のイベント等も廃止される中で意見が尊重されていないと感じる。今後も市民意見が何処まで届くのか心配である。
	議会は、恒常的に市民意見を聴く体制(陳情・要望・FAX等)はあるのか。
	議決の際、議員個人の賛否を公表してほしい。
	市民からの提案を含め全体からアンケート調査など実施し、意見を全体から聴くべきではないか。
	議員は現場に直接、足を運び調査し、声なき市民の声をどれだけでも汲み取ってほしい。
	地域の議員がいなくなった場合、地域要望(町内要望)を誰にお願いすればいいのか。

	議会と地域を密接に結びつける関係を構築するべきでないか。
報酬	正副議長、議員の報酬はいくらか。
	議会開催日数と報酬の関係で、日割りにすると日当いくらになるのか。
	副業を持ちながら議員を務めるのは専門性に欠けるため見直すべきでないか。
	副業を持ちながらも議員の任務をしっかりと果たせればよいのではないか。
	議員には報酬の他に費用弁償及び政務調査費があると聞かすが、どうなっているのか。
	政務調査費は何のために必要なのか。
	議員報酬の額は、下げるべきではないか。
	市民感覚では、議員報酬の高い、安い議員それぞれの活動如何に関するものである。
	議員報酬を下げ、定数を増やすことは考えないのか。
倫理	議員のあるべき姿をどう捉えているのか。
	議員は政策立案よりも資質向上が先決ではないか。
	これまでの議員は地域代表で一定の役割を果たしていたが、今後は市民も視点を変え広い視点に立って議員を見ていく必要がある。議員は単に地域代表に留まるべきではない。
	議員は独自性の政治力を身に着けるべきではないか。
その他	市民協働のまちづくりをすすめるための方法論はどのようなものなのか。
	世界生活文化センターは県でも廃止を検討されるようだが、市としてどのような考え方を持っているのか。
	人口減少、少子高齢化に備えるため、どのような対策を考えているのか。
	国会議員の削減も要望してもらいたい。
	夫婦別姓問題について市議会は、どのような見解を持っているか。
	オンブズマンのような組織をつくってほしい。